

いろいろにゆうすがありまして

やぶやぶにゆうすの感想、大藪保険の感想をお寄せください。

office@yabuyabu.com

ありがとうジャパン！感動のラグビーに感謝！

ありがとうジャパン！感動のラグビーに感謝！まさかAプールを全勝するなんてアンビリーバル。夢のような一生に一度の44日間でした。

事故報告や立会の合間に、予定の試合日は桜のジャージに着替えて全国に、第2戦のイルランド戦には歴史の目撃者になり、日本の全ての試合も故郷釜石での試合に、準々決勝、準決勝、決勝と10試合をスタンド観戦してもう幸せ、大満足です。

にわかラグビーファンが増えた？いいんです最初は誰もが初心者です。細かいルールは忘れて単純に男が体をぶつけあう陣取りゲームを楽しみましょう。

約50年近く見てきた人間として仲間が増えて嬉しいです！

ラグビーワールドカップとは男子のラグビーユニオンのナショナルチームの世界選手権大会です。

1987年に開催されて、4年ごとに開催されます。アジアで開かれるワールドカップとしては日本が初めてとなります。

一言にいえばラグビーってどんなスポーツなのか？ラグビーは「陣取り合戦」「点取りゲーム」などと表現されることが多いです。試合終了時、相手より1点でも多く点数を取ることが勝利となる。そのため点取りゲームと思っただけでも問題はありません。



ちょっと我慢、かなり我慢！これがワールドカップ決勝戦の切符です。(他に我慢することがない大藪社長です。皆様片目をつぶってお見逃しください。)

でも大藪保険のノーサイドはまだ当分先のようにです。

「ノットリリース」「仕事を抱え込むな」。
「ジャッカル」「相手から奪い取れ」。
「セイビング」「体を張って守れ」

そしてノーサイドの精神や各地での国際交流。その影響で社内でもラグビー用語が出ています。「ONE TEAM」は勿論この「ONE TEAM」今年用の用語大賞とそうそうですね。ラグビーは確かに「点取りゲーム」ですがプレー中にはいろいろな細かい指示が飛び回っています。体を張ったスポーツですが頭脳戦なんです。印象的に残ったのは

世界遺産と国宝の補償



昨年の5月に沖繩に行き、首里城等を見学しました。正殿・南殿・北殿でガイドの方の服が冠位毎に異なっている。歴史を解り易く解説するいろいろな工夫もされていきました。それが一瞬のうちに全て失ってしまった。非常に残念に思います。

世界遺産と国宝の補償

ここで保険はどうなっているのか？国宝の場合は全て国が維持・管理をして責任を持ちます。しかし重要文化財はその所有者が責任をもって維持・管理しなければならず所有者が保険も付保しなければいけません。補助金等は出ませんが所有者は大変なようです。現行では文化財保護法に基づく文化庁の国庫補助要項で原則50%所有者の資産状況により最大85%まで上乗せです。

では世界遺産は文化庁かユネスコが？今回の世界遺産は旧首里城の遺構だけというところなので、焼失した首里城は民間の保険で対応するしかないようです。

今後は国庫補助要項を引き上げることを検討しているようです。大事に守っていききたいですね。



炎上する首里城

ただいま！初のホームステイ体験記



初のアメリカ本土、初のホームステイ、15時間の時差、それに気候が寒い、参加不可の条件が整っていました。よその家に泊まる？ホテルじゃない！あんなに不安だったホームステイもクロフト家の若いジムとマリナの40代のご夫妻、私にとっては子供の家庭です。温かいおもてなしで不安は消え失せ、毎日を快適に過ごさせていただきました。千葉県とウイスコンシン州の友好使節団として、毎日メンバーと待ち合わせして、ハイスクールや施設（老人ホームは日本の老人ホームと比べて格段に施設が立派でした。税金が高い代わりに快適な施設が利用できるのは良いですね、ショウトスティもリビング付きで1泊2ドルでした。）に訪問してよさこいの演舞を披露します。まあアメリカと言ってもカナダより、五大湖の近くですからねえ、アメリカの田舎です。アメリカ巡業と言えは聞こえは良いのですが、どさ周りですね。気候は寒いですが、震え上がるほどではない、ホームステイで困るのはまず語学力、事前の準備は一応しました。「60歳からの英会話」を聞いても凡人の私にはすぐには役にたちません。使節団も配慮してくれまして英語が話せる方を各ホームステイ先に一緒にさせてくれました。ポケットクも持っていました。毎晩クロフト家で酒盛りしておりました。私以外は下戸なメンバーは早めに引き上げましたが、大瓶のシナモンウイスキーをほぼ空っぽに、よほど酒飲みと思われたのか帰りには「テキーラ」をお土産に頂きました。ホームステイで良かったと思うのはアメリカの家庭を見れたこと、冷蔵庫の大きさ、お部屋の大きさクラフト家で40人をご招待してのパーティーを開いたり、他所のお宅のパーティーに行ったりホテル暮らしでは味わえない体験でした。アメリカのパーティーはご馳走を食べるのではなく人と会う、コミュニケーションをとるのが一番なのですね。初のホームステイはとても楽しかったです。

あらま？！ そうだったんだ

ウイスコンシン州の協会から電話が、私達友好使節団は帰国するとそれぞれがレポートを提出しなくてはならないのです。そこでホームステイ先でかぼちゃのジャックを作ったり、判事でありメキシカンダンスの主宰をしている奥様のマリナと髪飾りを全員で作った事を書きまして、締めめにウイスコンシン州にメイブルの木が紅葉して美しくなったので、落ち葉を拾って持ち帰り、私のもう一つの趣味である押し花で作品を作りました。まさにホームステイ先では制作の日々でした。と書いて送りました。その件で落ち葉の持ち込みを活字にしてウイスコンシン州の小冊誌に乗せるのはどんなもんか？との連絡でした。私は物作りにまとめたかっただけで、カットしてくださったと答えました。



二つも作りました。お世話になったクロフト家にクリスマスカードと共に送ります。

編集後記

オリンピックまで後、半年と迫ってきました。今年一年盆踊りや地域のお祭り、「東京五輪音頭2020」をささやかですがPRしてまいりました。皆様踊った方、目にした方いらつしやいますか？そんな矢先のマラソン、競歩の札幌移転、「オリンピック前夜祭で踊ろう」と運動してきたのですが、前夜祭も暑いよね、最初からわかっていたのでは、東京オリンピックなのにと残念な気持ちが残ります。来年も大藪保険、やぶやぶにゆうすご愛顧ご愛読よろしくお願いたします。皆様良いお年をお迎えください。

(杉山編集)



クロフト家のリビングで



乳幼児から90歳のお年寄りまでの施設でした。



ジャック・オー・ランタン作りしました。